

プレスリリース

令和 6 年 1 月 19 日

報道機関 各位

独立行政法人国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校長 澤田 恵介

仙台高等専門学校専攻科 地域課題解決 PBL 成果報告会

令和 6 年 1 月 29 日（月）開催

宮城県大崎市の鳴子温泉、岩出山両地区の旅館や農場の課題を AI や IoT で解決

仙台高等専門学校の情報電子システム工学専攻科 1 年生の授業では、宮城県大崎市の鳴子・岩出山地域の事業者の協力のもとフィールドワークによって地域課題を発見し、AI や IoT, ICT などを活用して解決策を提案する学習事業を実施しています。このたび、1 年間の取り組みを報告する成果報告会を実施いたします。報告会では外部の識者を招き、「ピッチ」の形式を導入し、学生は自分たちの取り組みをビジネスプランとしてプレゼンテーションを行い、多様な視点からのアドバイスにより、スタートアップや起業に必要なマインドを醸成することを図ります。

つきましては、ご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

記

- タイトル：仙台高等専門学校専攻科 地域課題解決 PBL 成果報告会
- 日時：令和 6 年 1 月 29 日（月） 13:00～16:00
- 会場：仙台国際センター中会議室「白檀 1」（仙台市青葉区青葉山無番地）
- 主催：仙台高等専門学校
- 詳細：別紙をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

《イベントの詳細に関すること》

仙台高等専門学校（広瀬キャンパス）

企画運営係 菅野

TEL: 022-291-5506

E-mail: kikaku2@sendai-nct.ac.jp

《報道に関すること》

仙台高等専門学校（広瀬キャンパス）

総務課広報係

TEL: 022-391-5554 FAX: 022-391-6144

E-mail: koho@sendai-nct.ac.jp

【別紙】

仙台高等専門学校専攻科 地域課題解決 PBL 成果報告会

宮城県大崎市の鳴子温泉、
岩出山両地区の旅館や農場の課題を AI や IoT で解決

独立行政法人 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校（宮城県 校長：澤田恵介）は、広瀬キャンパス情報電子システム工学専攻科 1 年生の授業にて、宮城県大崎市現地でのフィールドワークによって地域課題を発見し、AI や IoT、ICT などを活用して解決策を提案する学習事業を実施しています。

2023 年 4 月より学生は各事業者を訪問し、課題を確認しました。1 年間かけて 8 つのチームが解決策をまとめ、その成果報告会を 1 月 29 日（月）に仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）で開催します。この取り組みは、「文部科学省高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」の一環として実施されており、学生が地域で活動し、自身の技術を駆使して地域社会の課題に取り組み、地域活性化に寄与することを目的としています。

今回の取り組みでは「ピッチ（ビジネスのアイデアを簡潔で説得力をもってプレゼンテーションすること）」の形式を導入し、1 年間の研究成果を民間企業のアドバイスを受けながら、各研究に対して多面的な視点を持つ機会とします。外部の識者として、仙台市のスタートアップ担当者や CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）の代表などが参加し、学生にとってスタートアップや起業に必要なマインドを醸成することを図ります。

<開催概要>

- タイトル：仙台高等専門学校専攻科 地域課題解決 PBL 成果報告会
- 日時：2024 年 1 月 29 日（月） 13:00-16:00
- 会場：仙台国際センター中会議室「白樫 1」（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）
- 主催：仙台高等専門学校

<プログラム>

- 13:00-13:05 はじめに
- 13:05-13:35 ゲスト自己紹介（2 名）
- 13:35-14:35 ピッチチームの学生代表が発表：8 名
- 14:35-15:05 ゲストによるプロフェッショナル視点の講評
- 15:05-16:00 ポスターセッション&交流会

<学生の研究テーマ>

- G1：音と光を組み合わせた獣害対策～GROB システム～
- G2：センサによる人流の可視化システムの開発
- G3：温度・湿度・気圧の可視化システム
- G4：配膳状況管理システム

G5 : BIG SWAMP

G6 : IoT を用いた通知システムの提案

G7 : 入退室管理システム

G8 : 多用途センサライト「イノシシバイバイ」

<ゲストプロフィール>

白川裕也（しらかわ・ゆうや）

仙台市経済局 イノベーション推進部 スタートアップ支援課

秋田県大館市生まれ。東北大学卒。東北の経済を活性化させるような仕事がしたいという思いで仙台市役所へ入庁。2013 年から起業支援施策の企画・運営を担当し、仙台市起業支援センター“アシ☆スタ”の立ち上げ、地方最大級の起業イベント「SENDAI for Startups!」や東北全域を対象とした国内初の広域アクセラレーションプログラム「東北グローバルアクセラレーター」の実施など県域・市域を越えて起業家を産み育て、東北各地にその連鎖を広げ、大きなエコシステムを共創するために活動している。



柴田裕（しばた・ゆたか）

JR 東日本スタートアップ 代表取締役社長

1991 年、東日本旅客鉄道株式会社入社。駅での勤務を手始めに、財務や経営企画、小売（出向）などに従事。2018 年 2 月、JR 東日本スタートアップ株式会社代表取締役社長に就任。「JR 東日本スタートアッププログラム」の開催などを通じて、ベンチャー企業と JR 東日本とをつなぐ、橋渡し役を担う。ホームページにブログ「鉄道員（ぼっぼや）社長の冒険」を掲載。



<ファシリテーター>

岡田慶子（おかだ・けいこ）

ユニキャリア 主宰

「人生の後半戦を自分の手で」をキャッチフレーズにしたキャリアコンサルティング事業のユニキャリアを主宰し、人生の納得度を上げたい人のための共学・共遊の場「未来航路塾」を運営。得意なことは人や組織、モノの潜在的な特異点を見出すことと台本のないファシリテーション。イベント企画やキャスティングの他、場づくり、仲間の広がりを目指す読書会や皇居ラン、セミナーなど年間 50 回程度のイベントを運営する。業種・業態・職種に関連性のない 10 数回にわたる転職を経て現在は 4 度目のフリーランス。一般社団法人熱中学園理事。THINK AERO(bag)のアンバサダー。



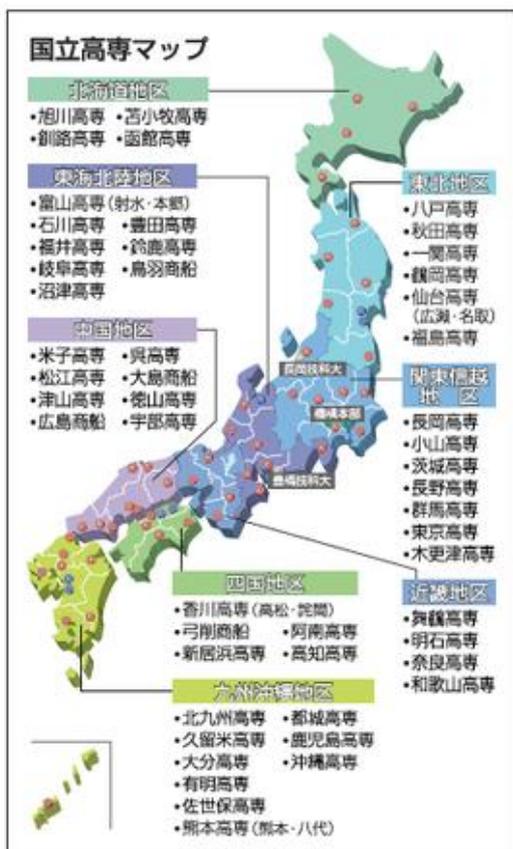
■ ■ 参考

■ 高等専門学校（高専、KOSEN）とは？

高等専門学校は、中学校を卒業した方が入学できる、5年一貫教育（商船学科は5年6カ月）の実践的・創造的技術者を養成する高等教育機関であり、現在全国に51の国立高等専門学校（高専）が設置されています。

■ 独立行政法人国立高等専門学校機構について

独立行政法人国立高等専門学校機構は、国立高等専門学校（高専）を設置・運営するため、平成16年に設立されました。国立高等専門学校機構では、全国に51の国立高専を設置し、積極的なアクティブラーニングの展開、グローバル化を先端的に進める新たな高専づくり、スケールメリットを最大限に活かした研究活動の推進などにより、地域と社会が抱える諸課題に果敢に立ち向かう、深い科学的思考に根差した実践的人材を養成しています。



■ 仙台高等専門学校について

仙台高等専門学校（広瀬キャンパス・名取キャンパス）は、2009（平成21）年10月に国立高等専門学校の高度化再編により、仙台電波工業高等専門学校と宮城工業高等専門学校が統合して、創立されました。

情報・電子系を中心とする広瀬キャンパスと、機械・電気・材料・建築に関するものづくりを中心とした名取キャンパスから構成され、情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース、ロボティクスコース、マテリアル環境コース、機械・エネルギーコース、建築デザインコースの7つのコースと、4年次より両キャンパスにま

たがった応用科学コースがあり、社会の広い分野で活躍できる技術を身につけたエンジニアを養成しています。
また、情報電子システム工学専攻と生産システムデザイン工学専攻の2つの専攻科があり、専門性を深めるとともに複合領域への対応能力を身につけた人材を養成しています。

【学校概要】

学校名：独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校

所在地：広瀬キャンパス 〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号

名取キャンパス 〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山48番地

校長名：澤田恵介

設立：2009年10月

HP：仙台高等専門学校 (<https://www.sendai-nct.ac.jp/>)

事業内容：高等専門学校・高等教育機関

※【本リリースに関するお問い合わせ先】

仙台高等専門学校 企画運営係 菅野

TEL: 022-291-5506

E-mail: kikaku2@sendai-nct.ac.jp